

医師：相談できずにいたのですね。お辛かったですよ。
大分、落ち込んでいらっしゃるので、私としてはまず、専門医に、あなたが今、どのような状態なのかを診て頂く必要があると思います。

専門の医師に相談なさってはいかがでしょう？



患者：そうですね。専門の医師に診てもらいます。

医師：それがいいと思いますよ。



患者：そうしたいと思います。

医師：やはり、辛くて死にたくなったり、とても深刻な状態ですから早めにいかれた方がよろしいと思います。こちらの方では引き続き治療をしていきますので。



患者：そうしたいと思います。

医師：これから受診の段取りをしますので、ご家族と一緒にいていただくようにしたいと思います。



患者：はい。それと、医療費のことが心配です。
借金も抱えてどうにもしようがなくて・・・それが頭から離れません。

医師：もちろん医療費のことについてもどのようにしたらよいか一緒に考えていきましょう。病院のソーシャルワーカーと一緒に相談にのってもらうのはいかがでしょう？



患者：どのような相談ができるんですか。

医 師：そうですね。たとえば、制度を活用して医療費の補助や減免ができるかどうか、かかえている借金の整理ができるかどうか。いろいろと一緒に考えてみるができると思います。



患 者：そうですか。ありがとうございます。

医 師：ソーシャルワーカーさんに入ってもらいましょう。



患 者：ありがとうございます。

(診察室)

医 師：(内線電話) 今受診されている患者様の件で、医療費の件や経済的な面でご苦労されておりますので、一緒に相談できないかと思ひまして。



ソーシャルワーカー：そうでしたか。今受診されている方ですね。

医 師：はい。ガンも疑い検査入院をしていただきましたが、その心配はなくなりました。
ただ、いろいろとご苦労されていてストレスもおありのようで、うつ状態になっているようです。
だいぶ追い詰められていますので、精神科の受診も考えておりますが、経済的問題や医療費についても相談にのっていただくと、ご本人もだいぶ安心されると思います。



ソーシャルワーカー：そうですか。それでは、今伺います。

医 師：忙しいところすみませんが、よろしくお願いいたします。

(診察室)

ソーシャルワーカー：

こんにちは。病院相談室のソーシャルワーカーです。先生からも経済的な面や医療費のことでだいぶご心配されているとお聞きしました。少しお聞かせいただけますか。

患 者：はい。もう、お金のことが頭から離れなくて・・・仕事もうまくいかないし、もう、自分ではどうしたらいいかわからなくて、八方ふさがり状態なんです。

ソーシャルワーカー：

それは、おつらいですね。

お金のことで、借金が150万ほどあるということでしたが。



患者：はい。その通りです。



ソーシャルワーカー：

私たちは、鈴木さんが困っていることについて、これからどうしていけばいいのか、一緒に考えて、あなたの助けになりたいと思っています。



患者：はい・・・

ソーシャルワーカー：

あなたが今、困っていること。医療費や、お金のことなど、それぞれ専門の相談機関があることをご存じでしたか？



患者：いいえ・・・詳しくはわかりません。

自分のことだから、自分で何とかしなきゃと思っていましたし、何から手をつけたらよいかわからなくて・・・

ソーシャルワーカー：

そうですね。相談先を探すのも苦労されますよね。

患者：そうなんです。5～6社の消費者金融から借りていて・・・利息ばかり大きくて、返しても返しても、額が少なくならなくて、困ってしまって・・・



ソーシャルワーカー：

借金の解決も必要に思いますが、いかがでしょうか。

患者：そうですね。ずっと悩んでいたんで、そうできるといいですね。



ソーシャルワーカー：

借金の相談にのってくれる専門の相談窓口もあるんですよ。消費生活センターや、法テラスなどの法律相談の窓口でも相談できるし、NPO法人でもいろいろ相談できるところはあるんです。



私たちがからそういうところにつなぐこともできます。よければ、これから今後の問題の解決に向けて、一緒に考えていきませんか？

患者：相談室の相談って、お金かかるんですね。



ソーシャルワーカー：

相談にはお金はかからないんですよ。私が消費生活センターに連絡をとって、関係機関と調整することもできます。もし、ひとりで相談をすることに不安を感じるようでしたら、相談に同席することもできますので、安心なさってください。



患者：そうなるとうれしいです。ひとりではちょっと不安なものですから・・・

ソーシャルワーカー：

わかりました。それ以外にも医療費のことや治療のことで、今後も困ったことがあれば、いつでも相談してきてください。

患者：はい。誰にも相談できなかったので、相談に乗ってもらえると助かります。

ソーシャルワーカー：ご家族も一緒に相談していきましょう。

家族：はい。本当にありがとうございます。



患者：ただ、家族には迷惑かけたくないんで。

家族：私たちのことは大丈夫だから。一緒に考えていきましょう。

ソーシャルワーカー：

ご苦労されているお気持ちはすごくわかります。

私たちもご本人やご家族の気持ちも踏まえて、一緒に問題を解決していくように協力させていただきたいと思います。
もし、最初に行った病院が合わないと感じましたら、別の病院でも受診することもできます。

ご本人も、ご家族も通院などのことで不安に感じるがありましたら相談にのりますので、いつでもご連絡ください。



患者：わかりました。それだと安心です。

家族：ありがとうございます。



医師：ソーシャルワーカーとも相談しながら、対処していきましょう。

また、こちらでもうつ状態に関して、専門の先生に診ていただけるように、これから連絡をとらせていただきます。



患者：ありがとうございます。

今日は、もう死ぬしかないと思っていましたけど、だいぶ安心しました。

看護師：そうですね。相談してよかったですね。

それではこれから主治医が精神科の先生にご紹介しますね。今日いけるようにこれから精神科の先生に連絡をとりますので…。

時間等を確認して、お伝えするので外来でお待ちになっていてください。



患者：わかりました。私こそありがとうございました。

医師：ご本人も安心されると思いますので、奥様も大変だと思いませんけれども、今日は一緒に受診に付き添っていただけますか。

家族：わかりました。話を聞いていただき、私たちも安心しました。



医師：こちらでも引き続き胃潰瘍など体調面については継続して治療していきます。

患者：これからもよろしくお願いたします。